



衛星測位・位置情報展

EV・PHV普及活用技術展

# NEWS

2017.9.13(水)・15(金)  
東京ビッグサイト 東ホール

発行元: SATEX / EVEX事務局  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2  
大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内  
TEL: 03-3503-7661 (SATEX)  
03-3503-7660 (EVEX)  
FAX: 03-3503-7620  
E-Mail: office@satex.jp(SATEX)  
office@evex.jp(EVEX)

## SATEXとEVEX、開催へ向け関心高まる

衛星測位・位置情報展(SATEX)およびEV・PHV普及活用技術展(EVEX)が、9月13日(水)から15日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される。  
SATEXは、出展対象を測位技術と位置情報サービスに拡大し、システムベンダーおよびエンドユーザーに最新技術を提案する展示会。出展者と来場者による商談を目的としたビジネストレードショーとして、3回目の開催を数える。  
そして国内唯一のEVとPHVの専門展として8回目を迎えるEVEXは、欧州勢をはじめとしたEVシフトが本格化した現在、電気自動車再度注目を浴びる存在となっている。今回は自動運転・コネクテッドカーゾーンを新たに企画し、同時開催のSATEXとの相乗効果も打ち出していく。

### 衛星追加打ち上げで 機運高まるSATEX

来年度から4機体制による本格サービス運用が始まる準天頂衛星。6月から本年中に3機の打ち上げが予定され、徐々に期待が高まっている。SATEXはこの準天頂衛星を利用した機器やサービスの専門展示会。本格稼働前の本年は、この分野のビジネスに新規参入をめざす多くの企業にとって絶好の機会となる。

4機体制になり、より高精度な位置情報を得られることで、システム向上を目指すIT関連企業や、現場の効率化を求める製造業・物流業などから、「今後のビジネスとしてこの分野がどう関わってくるのか」など、本展に高い関心が寄せられている。

### 拡大する位置情報関連市場 ユーザーの満足度も向上

「位置情報」を加えた本年のSATEX。その背景として、位置情報関連の市場規模拡大による新サービスの増加がある。

測位システムを導入した製造業者によると「各工程における作業時間の把握」「機器・備品類の管理」など、業務の可視化・効率化につながっているという。物流業界からは「倉庫内作業がスムーズになった」「発信機を取り付け、資材の紛失・盗難防止に役立っている」との声もある。さらに、ショッピングカートに端末を搭載し店舗内での顧客動線を収集するなど、小売業界ではデータ分析にも活用されている。

「観光客の増加に期待」と話すのは、とある自治体関係者。携帯端末などを通じて利用者に対する適切な情報配信、災害時の安否確認など、サービス向上を進めたいと考えている。

一方、建設・インフラ業界ではドローン導入の希望が増えている。あるドローンメーカーは「センサーやレーザーの精度向上、カメラの小型・軽量化が進み、測量だけでなく橋やトンネルなど構造物診断においても評価は高い」と話す。

このような状況をふまえ、今回のSATEXには明確な目的を持つユーザーが多数来場しそうだ。関心の高い来場者へ向けたさまざまな

「観光客の増加に期待」と話すのは、とある自治体関係者。携帯端末などを通じて利用者に対する適切な情報配信、災害時の安否確認など、サービス向上を進めたいと考えている。

### ビジネス拡大の好機 初出展も続々

本年は初出展の企業も多い。日本インテググラフは衛星データや位置情報を活用した最新テクノロジーを、小泉測機製作所は海外のGNSS機器、そしてExelivisionは衛星画像の解析ソフトウェアを出展する。さらに、マゼランシステムズは車やドローンの自動運転に用いられる各種測位システムを紹介する。また、継続して出展する企業には、「他展に比べビジネス色が濃い」「位置情報サービスの市場拡大に期待している」などの理由から、前回より出展スペース拡張を検討する企業も複数ある。

### EV時代へ本格加速 8回目のEVEX

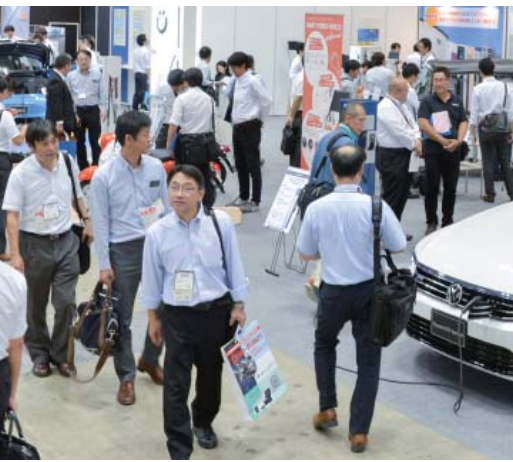
2010年の開催当初から、現在のEV時代を見据えて開催されてきたEVEX。開発技術の提案はもろろん、近年ではEVを活用したサービスや普及に寄与する提案が集まる展示会として、業界関係者から広く認知されている。EVの車種も増え始め、まさにこれからがEV時代といえそうだ。

国内では、2020年の東京オリンピック控え、技術力の訴求や環境配慮の観点から、燃料電池車とともにEV普及が期待されている。また海外を見ると、米カリフォルニアや中国の環境規制強化の動きなどから、自動車メーカー各社はEVの開発・普及が喫緊の課題となっている。

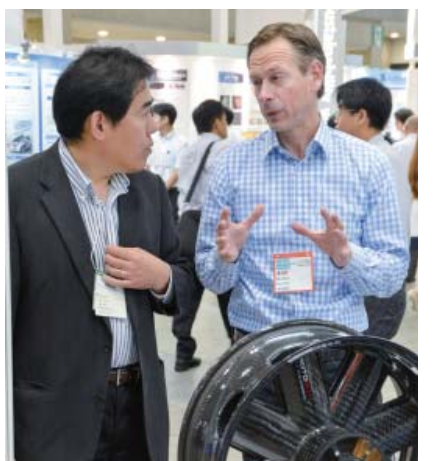
### 関係者を魅了するセミナー 同時開催展との相乗効果も

本年も自動車関係者を魅了する企画が勢ぞろいしそうだ。セミナーでは、EVの国際事情のほか、充電インフラ、電池に関するセッションなどを現在調整中。実行委員からのアプローチで、各界の有識者や専門家が講師として参加する予定だ。

また同時開催のエヌプラス(詳細は裏面参照)は、自動車関係者が求める【素材・材料】【機械・工具】【加工技術】が集まる展示会。



軽量化に寄与するCFRP関連ほか、耐熱・放熱といった熱対策、コーディング関連などの提案が集結しており、自動車メーカーの研究・開発担当者にとっても有益な情報収集の場となっている。



### 出展申込み・問合せが急増 申込期限は5月31日

申込期限が迫り、事務局への出展申込みや問い合わせが急増している。

SATEX・EVEX両事務局は、一社でも多くの申し込みを受け入れる構えで、「出展を検討している方は、あらかじめ事務局へ連絡してほしい」としている。それぞれの連絡先は以下の通り。

出展を検討中の方はこちらのアンケートにご回答ください。

FAX: 03-3503-7620

■出展について(該当箇所に入力してください)

- エヌプラス       SATEX       EVEX
- 予定( )月頃       小間      決定( )月頃
- 検討中( )月頃       小間      決定( )月頃
- 詳細を知りたい(後日、事務局担当者よりご連絡いたします)

会社名 \_\_\_\_\_

部署・役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 所在地 \_\_\_\_\_

エヌプラス事務局  
TEL: 03-3503-7621  
SATEX事務局  
TEL: 03-3503-7661  
EVEX事務局  
TEL: 03-3503-7660

www.n-plus.biz  
www.satex.jp  
www.evex.jp



新たな価値をプラスする  
材料・機械・技術の展示会

NEWS

2017.9.13(水)・15(金)  
東京ビッグサイト 東ホール  
www.n-plus.biz

発行元：エヌプラス事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2  
大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内  
TEL：03-3503-7621  
FAX：03-3503-7620  
E-Mail：office@n-plus.biz

# 昨年を越える勢い 高機能化を実現する「素材」「機械」「技術」

## 「高機能化」に寄与する 様々な出展者が一堂に

第8回目のエヌプラスが9月13日(水)から15日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催される。本展は、ものづくりに欠かせない「素材」「機械」「技術」を対象とした展示会。大手素材メーカーをはじめ優れた技術型企業が出展するものづくりの展示会として定評がある。来場者は自動車や電子部品、航空・宇宙、食品製造業など多業界におよび、なかでも製品開発や研究部門の割合が高いのが特徴。製品の高機能化・高付加価値化を求める多くの企業が抱える課題やニーズに、出展者と来場者をつなぐ「キーワード」で相互のマッチングを図る。そして本年も電気自動車の開発から普及・活用提案までを網羅したEVEEXと、衛星測位および位置情報をテーマにしたSATEEXが同時開催。最新の素材や技術を求める自動車メーカーなどの来場者は、エヌプラスにも大きな効果をもたらすだろう。(EVEEXとSATEEXについては裏面参照)

事務局には、昨年を上回る勢いで申込み・問い合わせが寄せられていることから、本年は展示内容がより一層充実し、多くの来場者ニーズに対応できる展示会となりそう。

### 来場者の1/3が研究・開発担当者

#### 効果的な商談を実現

欧州をはじめとした自動車メーカーでは、環境規制などを背景に電気自動車の開発が加速している。また国内では、2020年の東京オリンピック向け、燃料電池車などの最新の環境技術で、将来へ向けた水素社会の実現を目指している。このような状況から、新たな「素材」や「加工技術」に、様々な業界の技術者、特に製品の研究・開発担当者からの関心と注目が集まっている。

本展は、そのような研究・開発担当者が多く来場する展示会として、毎年その規模(展示)を拡大し続けている。来場者は自動車、電子部品ほか航空・宇宙、食品製造業界など多岐にわたることで、既存客以外の新たな業界との商談が期待できる。本展の出展者からは「毎年出ている。秋に東京で開催される素材と技術の展示会は貴重」「普段取引のある業界以外に向けてPRした結果、思いがけない商談があった」「新規開拓に欠かせない展示会になってきた」「開発担当の来場が多いため、本題に入るまでのスピードが他展と違う」等、評価する声が多い。また、新素材や技術など、製品化前の情報収集・マーケティングの場としても本展は活用されている。

### 出展者と来場者をつなぐ

#### 効果的なマッチング

来場者が、目的とする製品・サービスを見つめるのに役立つのが「キーワード」である。「コーティング」「接着・接合」「軽量・高強度」など、毎年さまざまな業界の来場者から寄せられる、製品開発の課題やニーズから抽出し設定しているのが特徴だ。来場者の目的や課題と、出展者のPRポイントとを共通化するキーワードが、確度の高いマッチングを実現している。

来場者から寄せられている今年のキーワードは、下表の通り。

### 関心の高い キーワードランキング

- 1位 コーティング
- 2位 接着・接合
- 3位 軽量・高強度

- 4位 耐久・疲労・耐衝撃
- 5位 耐食・耐水・耐油・耐薬品
- 6位 軟度・弾性・硬度
- 7位 熱対策
- 8位 導電・絶縁
- 9位 耐振・制振

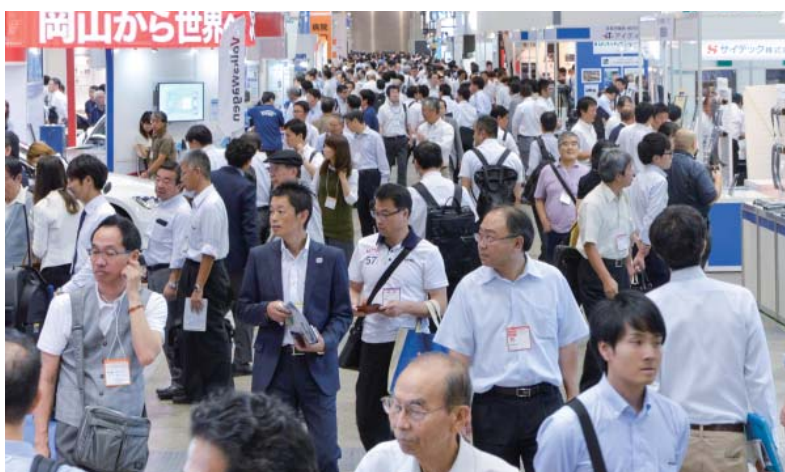
(5月22日現在、事前来場登録集計結果)

### 増加するグループ出展

#### 単独出展以外の選択肢

本展では、行政や商工会議所が地場企業を取りまとめ、地域の技術力を訴求する例が目立つ。「会員企業の販路開拓に有益」と評してエヌプラスを活用している柏商工会議所は、昨年より大きく小間を増やし、継続で出展。市内の企業を募り出展する市川市のほか、本年は奈良県も初出展する。

既存客以外の多くの来場者と出会い、新しい顧客をつかむことが展示会の最大のメリット。複数社で出展したり、助成金を活用する等も、有効な手段だ。



## 「高機能化」に寄与する 様々な出展者が一堂に

様々な業界で進む「高機能化」。それを支える材料や部品、加工技術などへの要求もますます高まるばかりだ。製品の高機能化・高付加価値化に寄与する本年注目の出展者を一部紹介する。

### 素材・材料

大手化学メーカーでは、日本ゼオンがシクロオレフィンポリマーの開発品やナノインプリントに適したフィルムなど高機能樹脂および特殊化学品を出展するほか、ADEKAの出展も確定。JXTGエネルギーはエラストマーや吸音不織布、高耐熱透明樹脂など開発中の新素材を多数展示する予定だ。セルロースナノファイバーでは、中越パルプ工業が初出展、多くの企業から注目されそう。三菱鉛筆は筆記具で培った技術を他業界へ提案し、アキレスは機能性ゴム引布を、ウエストワンは超高強度・射出成形用コンパウンド樹脂を提案する。炭素繊維関係では、エーシーエム、東レコーテックスが出展するほか、ウイット、ヤマキユウ、三星工業、クボ製作所が合同で出展する。金属・セラミックス素材では、マテリオンブラッシュジュパンが超々ジュラルミンを超える強度を誇るアルミ材を、不二ライトメタルは耐熱高強度マグネシウム合金、東新セラテックは耐摩耗・耐熱・絶縁・耐薬品などに応じた各種セラミックスを提案し、モリシン工業は超軽量・高強度のアルミハニカムパネルを展示する。

初出展企業にも注目だ。阿波製紙は熱拡散シートを、昭和ゴムは作業者の負担軽減に機能性ゴムマット、マテリスは樹脂粉末製造技術を紹介する。

### 機械・工具

加飾成形機を出展予定の浅野研究所のほか、三星ダイヤモンド工業

はレーザー加工装置、キヤノン電子は小型の射出成形機や三次元加工機を展示、ものづくりの効率化を提案する。ベテルはCFRPやCFRTPなどに欠かせない複合材料の性能評価や各種部品の欠陥検査に役立つ新技術サービスを紹介。また新日本空調は、微粒子や気流の問題を解決する可視化技術をPRするほか、初出展のカンケンテクノは高効率熱交換器を搭載した超省エネ装置など各種排ガス処理装置を展示。ソフト99コーポレーションは密着不良を解消する表面改質処理システムと防汚コーティング材を紹介する。

### 加工技術

来場者の関心度が高い「表面処理技術」の分野では、超硬、セラミック溶射コーティングの倉敷ボーリング機工、無電解ニッケルめっきとステンレス電解研磨を専門とする金属被膜研究所、プラスチック総合表面処理を紹介する塚田理研工業が出展。さらに、浜松ホトニクスはUV接着用光源・表面処理技術、トシコはフッ素よりも強力な非粘着性表面技術を紹介する。グループ展示では、石川県プレス工業協同組合がCFRTP材を一工程で機械式プレスした複雑形状の製品を、初出展のキョークロは開発段階からサポートできる表面処理に特化したグループ展示を行う。また、真永は高精度のフルカラーダイレクト曲面印刷、ティ・ディ・シーは超精密加工技術、東レエンジニアリングはプラスチック射出成形機用ミキシングノイズを提案する。さらに、ウシオ電機は光による接着・硬化・洗浄を紹介する。

### 申込締切は5月31日

出展申込みの締め切りは5月31日。本展に関心のある方は、事務局まで直接メール・電話等で連絡してほしいとしている。展示会の詳細については事務局まで。(問い合わせ先は、本紙裏面参照)